

## 【活動報告】川尻漁業協同組合海難防止講習会



海難防止講習 (茨城保安部)



救命胴衣講習 (茨城県漁政課)

**日時:** 平成31年1月24日(木) 1400 ~ 1530

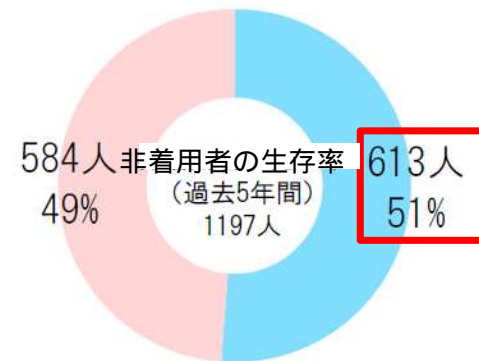
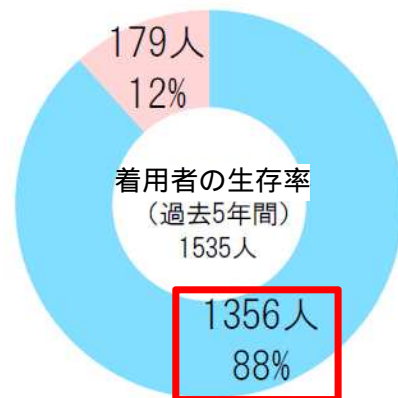
**場所:** 川尻漁業協同組合会議室

**内容:** 茨城県農林水産部漁政課と合同で、漁業関係者の事故減少を目的として、救命胴衣の重要性と使用方法、漁船海難の傾向、原因、防止策等について講習を行いました。(次ページに事故防止のポイントを掲載しています。)



# 救命胴衣の着用で生存率は大きく向上します

## 海中転落者の救命胴衣着用状況別生存率



■着用生存者 ■着用死者・行方不明者

■非着用生存者 ■非着用死者・行方不明者



海中転落した場合、救命胴衣を着用していれば体力を消耗することなく、容易に浮いていることができるため、救助される確立が高くなり、自分の命を守ることにつながります。

過去の平均値から見ても、救命胴衣着用者の生存率88%は、非着用者の生存率51%を大きく上回っており、救命胴衣の着用が大変有効であることを示しています。

平成30年2月から、船室外の甲板上では、原則全ての乗船者に救命胴衣を着用させることが、船長さんの義務になりました。



# 漁船船長さんへのお願い事項

## 衝突・乗揚げ事故を防止するために

### 常に見張りの徹底を

操業中は作業に没頭し、**見張りが疎か**になりがちです。  
常に**適切な見張り**を励行しましょう。

### 居眠りに注意

操業後の疲労により、航行中は**居眠りに陥りやす**くなります。  
乗組員が2人以上の場合は見張りを**交代し休息を取る**、**居眠り防止装置**  
**を使用する**などの対策を講じましょう。

### 自動操舵使用時は注意

漁船事故の特徴の1つとして「**自動操舵**」**使用時の事故**が挙げられます。  
その原因は「見張り不十分」「居眠り運航」が多数のため、自動操舵装置付属の**アラーム**  
**装置の導入及び利用**を心がけましょう。

次のような場合は、**手動操舵**に切換え、安全に操船しましょう。

港内	船が多い海域	荒天時、視界不良時	周囲に浅瀬等がある場合
他船が接近するとき		針路を変えるとき	



# 漁船船長さんへのお願い事項

## 一人乗り漁船での安全な運行のために

### 集団での操業

単独での操業を避け、2隻以上での集団操業を心がけましょう



### 気象情報の入手

出港時はもちろんのこと、航行・操業時にあっても、**気象情報の変化に注意**しましょう。

**荒天時は「出航しない」または「早めの帰航」の判断が重要です。**



### 連絡手段の確保

無線や携帯電話により定期連絡を行いましょう。

携帯電話は**防水パック**等に入れ携行し、常に連絡手段を確保しましよう。



### 海中転落への備え

万一の海中転落に備え、**救命胴衣を着用**しましよう。

また、船上に上がるためのハシゴやロープの設置をしましよう。

**平成30年2月から、船室外の甲板上では、原則全ての乗船者に救命胴衣を着用させることが、船長さんの義務です。**



### 体調への気配り

自身の体調・年齢に十分配慮し、無理をしないようにしましよう